

マニラで火災発生 - 西日本防災システム

2012年5月15日 フィリピン首都マニラのスラム街で火災が発生し、地元メディアによれば、少なくとも1000棟が全焼、約5000世帯が家を失ったようです。出火原因は不明。

フィリピンの首都マニラ南郊のモンテルパのスラム街で大規模な火災があり、約4000世帯が家を失いました。モンテルパ市のアルドリン・サンペドロ市長曰く「火災は、スラム地区の中心にあるプロパンガス販売店で発生し、約6時間続いた。約4000世帯が家を失ったが、死者はいない模様。家を失った人の数は2万人以上になるとみられる。不法占拠の多い地帯で、住宅は燃えやすい素材でつくられていたため、あっという間に延焼した」と説明しています。お亡くなりになった方がいないとのことですが、たくさんの方が家を失ってしまったようで 私達に何ができるのかを考えてみたいと思います。



ご家庭でも職場でも 火の用心の徹底を！



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>